

「ふくしの総合大学」としての「ふくし」の考え方

日本福祉大学スタンダード

卒業認定（学位授与）の方針（ディプロマ・ポリシー/DP）⇒ 日福スタンダードの教育目標

地域社会に貢献する力

（学則第1条）

DP	伝える力		見据える力		関わる力		共感する力		・自分の住む地域 で市民としての 自覚をもち、何 らかの形で地域 に参画・貢献で きる。 ふくし・マイスター としての素養
	相互理解の ためのコミュニ ケーション	自己の考えの 効果的な伝達	学びの視野 の幅広さ	「ふくし」の 考え方 の理解と活用	地域現場 での能動性	自身の キャリア構築	他者への 共感的理解	他者と自身の 幸福の追求	
知識・理解	多文化共生や異文化 対応の知識を持ち、相互 理解の必要性や手法を説 明できる。		「地域」「大学」 「社会」「健康」 などの事項を幅広く 理解できる。	「ふくし」の考 え方を理解し説明す ることができる。					地域に対する高い関 心と理解を有し、地 域課題を見据える 「ふくし」の視点 を身に付けている。
汎用的技能	様々な国・立場 の人と、相互理 解に向けたコ ミュニケーシ ョンができる。	ICTやコミュニ ケーション技能で自己 の主張を効果的に 伝えらるとともに、 基礎的な統計等を 理解し、数値・ データで説得的に 考えを示すことが できる。		「ふくし」の考 え方を使って、課題 解決に向けた問題 の整理・分析がで きる。	地域の現場での 実践的な学習技 能を身につけ、 能動的に学ぶこ とができる。	大学での学びを自 身のキャリア構築 に結び付けて考 えることができる。		様々な立場の人を 共感的に理解す るために必要な知 識・技能を有して いる。	生涯を通して地 域と関わりなが ら暮らししていく 市民としての基 礎力を持つ。
態度・志向性		自身の主張を明確 にし、相手に効果 的に伝わるよう 意識した発言・行 動ができる。	「地域」「大学」 「社会」「健康」 など広い視野で学 び、豊かな生活を 志向できる。	様々な課題につ いて「ふくし」の考 え方を用いて思 考しようとするこ とができる。	様々な地域の現 場で能動的に他 者に働きかけるこ とができる。		立場の違いなど を越え、共感的 に他者を理解し ようとするこ とができる。	他者の幸せを自 己の問題と捉え、 その実現に必要 な具体的方法や 行動を考 えるこ とができる。	ボランティア精神 とリーダーシップ を發揮できる。
総合的学習経験 と創造的思考力	様々な国・立場 の人の間に立っ て、これらの相互 理解を構築できる。		「地域」「大学」 「社会」「健康」 など広い視野で 学びを自己の専 門と関連付けて理 解できる。	「ふくし」の考 え方を様々な課 題・場面に適用・活 用し、問題を解決 することができる。	様々な地域の現 場で、能動的に他 者と関わりなが ら実践的に課題を 解決できる。		立場の異なる様 々な人々たちへ の共感的理解を、 他者にも広げ共 有することが できる。	他者の共感的理 解や協働のもと、 他者（および自 身）の幸せを社 会的に実現す るために行 動できる。	地域課題解決に 「身をもって当 たる」ことができる。

教育課程の編成方針 (カリキュラム・ポリシー/CP)

- *全学教育センター科目の設置、同センターによる学部科目所管(語学・情報・体育等)、必要な学部科目指定(「地域志向科目」等)を組合せ、「日本福祉大学スタンダード」(「四つの力」と「ふくし・マイスター」)を養成するカリキュラムを編成する。
- ***能動的・実践的な学修活動を重視する。**
- *正課授業に加え、正課外の教育的取組も含めた教育を追求する。
- *基礎的知識・理解の形成のため、「建学の精神」や「ふくし」理解の科目、「ふくし」に係る幅広い領域を理解する科目、多文化共生や異文化理解に係る科目、地域への関心を高める科目や取組を初年次中心に配置する。
- *効果的・双方向的・共感的コミュニケーションの技能を学ぶ基礎リテラシー関連科目を配置する(語学・ICT・数量的スキル等)
- *アクティブラーニングを多用してこれらのスキルを実践するための教育活動を普及・展開する。
- *「ふくし」の考え方をもって課題を整理・分析する取組を行う。
- *市民としての基礎的な力(技能等)を問う取組を行う。
- *幅広い視野、他者への効果的伝達や共感的理解、他者の幸福追求、キャリア形成の意識など、「ふくし」の考え方に関わる態度・姿勢を問う実践的な教育課題に取り組み、学生のリフレクションや担当教員の所見などを通してその成果を検証する。
- *地域で能動的に動き、ボランティア精神やリーダーシップを發揮できる教育的機会を設定し、同様の方法で検証する。
- *知識・理解、汎用的技能、態度・志向性について身に付けた事項を総合的に使って、「ふくし」の考え方を実践する学修活動に取り組ませる。
- *「ふくし」の考え方に基づく多職種・多分野連携教育を行う。

・自己の考えを効果的に伝えようとし、互いに理解しあえるようなコミュニケーションを進める意思を持っている人。
 ・幅広い視野で学ぶ意思を持ち、現在の「ふくし」の基本的事項を理解している人(多領域・多職種の参画など)。
 ・地域の現場で実践的に学ぶことに意欲を持つとともに、自己の将来について考える意思を持った人。
 ・他者の立場や意見を尊重する姿勢をもった人。
 ・地域に参画・貢献しようとする意志をもった人。

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー/AP）⇒ 日福スタンダードを志向する人材像

アセスメント・ポリシー
(DPの詳細およびCPに準拠して策定)